

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束にあたる行為は現状ないが、転倒リスクの高い方や認知症重度の方への対応時に不適切な声掛けの場面が時々みられる	身体拘束、虐待のグレーゾーンを見逃さず、職員間で気づき改善する	・ミーティングなどで、心理的圧迫が少なく感じの良い対応の意見交換を行う。 ・拘束や禁止的な声掛け、介助等の体験を行い、利用者の立場になることで辛さや不自由さを理解する。	6ヶ月
2	38	新しい職員も入ってきており、災害時の対応などが理解できているか不安がある	職員全員が災害時のマニュアル、防火設備の理解ができる	・年2回の避難訓練の他、個別の訓練指導を行なう。 ・全職員が定期的にマニュアルの見直しや防火設備の使用方法の確認、災害時のシュミレーションを行い、実践力を身につける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。